

今日は、引き続き、関東甲信地方は高気圧におおわれますが、夜には、前線を伴った低気圧が、北日本に達する見込みです。このため、関東甲信地方は、全般に晴れ時々曇りでしょう。

明日は、前線を伴った低気圧が千島近海に達し、日本付近は、西高東低の気圧配置となる見込みです。また、関東地方南部の海上には、弱い気圧の谷が発生する見込みです。

このため、関東甲信地方は、晴れで夕方から曇りでしょう。

長野県では、はじめ雨が雪の降る所があるでしょう。

関東近海は、今日から明日にかけて波がやや高いでしょう。

【 土日のお天気 】

	28日(Sat)		29日(Sun)	
	天気	最高/最低	天気	最高/最低
札幌	*	3/ 2	//	5/- 1
秋田	/	7/ 4	//	8/ 0
仙台		11/ 8		9/ 2
宇都宮		16/ 7		10/ 4
東京		16/ 12		11/ 7
横浜		16/ 13		11/ 7
長野		9/ 6		11/ 2
静岡		19/ 10		14/ 11
名古屋		17/ 10		14/ 7
新潟		11/ 9		11/ 4
金沢		12/ 8		12/ 7
大阪		15/ 11		14/ 6
神戸		15/ 12		14/ 7
広島	//	16/ 9		13/ 5
松江		12/ 9		12/ 6
高松	//	15/ 11		13/ 7
高知	//	20/ 13		16/ 9
福岡		16/ 11		15/ 8
鹿児島	//	20/ 14		19/ 13
那覇	//	25/ 21	//	24/ 20

(:晴れ, :くもり, :雨, *:雪 :のち, // :時々, /:一時)

【 お天気モード 】

「 日照不足や低温で道内の農業被害595億円 」 2009年11月20日の日記より

農水省は19日、日照不足や低温などの被害を受けた北海道の認定農業者を対象に、長期運転資金を無利子で貸し出すと発表しました。

【被害の状況】

1. 北海道では、夏以降の日照不足や低温などで、稲作や麦作を中心に被害が発生。
2. 道内の農業被害は595億円に上った。

【具体的対応】

1. 日本政策金融公庫のスーパーL資金に3億円の枠を設け、減収に伴う資金不足を補う狙い。
2. 同公庫の北海道3支店(北見、帯広、札幌)などで融資の相談を受ける。業務提携している最寄りのJAなどでも受け付ける。
3. 自然災害による無利子融資は、台風18号の被害が集中した愛知県に続いて2例目。

(農業新聞11月20日 より編集)

【感想】

今年の北海道は、珍しく本州などの梅雨かと思わせるような大雨が降り続き、またそれに連動しての日照不足が襲った。宮澤賢治が岩手県のヤマセで嘆いた「雨ニモマケズ」が、現代の北海道を襲った格好だ。

農家にとっては、天候不順ほど怖いものはないのは、昔も今も少しも変わらない。今夏の被害額は巨大であり、無利子で貸し付けを受けても、返済の日々を想えば、農業に傾ける思いがいかにばかりかと、胸の内が張り裂けんばかりではないかと気になる。

農業は、地域の安寧秩序や文化と暮らしの大本だ。天候による災害を、一人農家に押しつけてよいのだろうか？今後も繰り返し、日本の各地で、さまざまな自然災害による農家の苦闘は続く。セーフティネットというなら、善良な働き者の農家がばかを見ることのない政策を行ってほしい。

短時間で、偉そうな顔で、結論は政治家が出すという傲慢さが見えてきた。農家が職場放棄するような事態に陥ったら、その責任も政治家が取る、高所大所の遠大なる度胸があるなら結構だが、テレビ報道を見る限り、事業仕訳は現場知らずの政権奪取の権力施行の魔力に酔っているのではと危惧される。

ここは本気で、自然災害に襲われやすい環境にある日本農業に対する猛勉強と、現場に足げく通り農家の立場で政策を実行することを期待している。レンコウだかレンコンだか分からない政治家が、薄ら笑いで、仕分けをしてほしくない。国民の目は日毎厳しくなっている。もはや、8月の大勝利の余韻に浮かれていることは許されない。与野党の再逆転だって、すぐに出てくるかもしれない。政権が転々とすると、国民が苦勞するだけだ。

省エネ推進ソリューション)

水道水は貴重な資源です 「 [トータル節水システム](#) 」

CO2 削減は直ぐに取り組みができる 「[省電力システム](#)」
火災に気をつけましょう 「[消棒シリーズ](#)」

【 e健康生活 】

「[道具を使うカレドニアカラスの棲む島](#)」 2009年11月23日の日記より

最近、日曜日の夕方の肩の凝らない科学番組「[ダーウィンがやってきた](#)（NHKテレビ）」がお気に入りになっています。

毎回、知られざる動物たちの習性や生態をととても面白く、現場撮影されている力作に感動です。大自然の中、とても辛抱強い写らざるスタッフの努力と動物たちに寄せる愛情を感じます。

さて、22日は「[カラスが道具を作る・職人技続々](#)」でした。場所は南半球のオセアニア、フランス領「[天国に一番近い島・ニューカレドニア島](#)」です。同島は、南回帰線のやや北側に位置していますので、日本人にとっては、沖縄南西諸島から台湾の真反対にあるとイメージすると良いでしょう。ここに、生息するカラスは独自の進化をとげた [カレドニアカラス](#)。カス的一种ですが、鳴き声は決して、「カア、カア」のどちらかといえ、嫌われものとなっているあの黒いカラスではありません。

このカラスは、木の枝やカンダヌスという幅広の葉っぱの2個所に切れ込みをいれて、その植物の芯の中に潜んでいるナメクジをとりだすのがまさに職人技。カレドニアカラスには、枝を使うグループと葉っぱの先をフックにした道具を使うグループの2グループがあるそうです。どうやら、親から子への見よう見まねの伝承で、餌の少ないカレドニアで生き延びるための生活の知恵が発達したものという(キャビン博士の話)ことで、おやまあビックリです。

解説によれば、人間以外に道具を自分たちで作って餌を捕まえるのに使うのは、このカレドニアカラスだけというから、驚きです。やっぱり、カラスは頭が良いのでしょうか。

30数年前、オーストラリア東岸のグレートバリアリーフ沖で、約1ヶ月のまき網漁業の調査を終えました。「ヨーシ、これで久しぶりに陸(おか)に上られるぞと、コンパスを眺めて、ほぼ真東に針路をとったものでした。あー、懐かしい青春の1ページだなー。そして、陸の影を見つけた感動。「[おー、天国に一番近い島だ。何だかのっぺらな島だー。](#)」1000トンの漁船のブリッジから双眼鏡で見たニューカレドニアは凹凸の少ないほとんど平野部からなる島だった気がします。日本列島のような山が見当たらないぞ。

函館の水産学部を卒業し、三重県の巻き網漁業の会社に就職。大学出身の巻き網漁船の船長はめずらしい時代だったということなのか、当時の水産庁の[漁業調査船・日本丸](#)に士官として委嘱を受け半年ほど乗船しました。調査業務は、一艘旋き海外旋網漁業の漁場開拓と資源量調査で、航海士として晩秋の三浦半島沖でドック出し試験航海の後、久里浜を出港し一気に真南に南下。

そして、数か月の船上生活の任務を終え、水と食料や給燃料補給のために、最初で最後の寄港地がニューカレドニアのヌーメア港でした。水産庁の調査船ということなのか、当時のヌーメア駐在の商社マンとご家族がほぼ全員、満艦飾りの本船にやってきて、それは楽しい異国情緒あふれるパーティを楽しんだことが思い出されました。この時改めて、国旗日の丸の持つ偉大さを夕日に輝かせ、メインマストに翩翩と微風にただ揺れていたことを、昨日のこのようにおもいだします。

南半球の夕方の港は、人影もまばらで、時がストップしたように静寂そのまま、二セ南十字星がきらめき巻き網漁の疲れがすーっと取れた一時でした。翌日は同島の駐在員の方たちのジープで、郊外をドライブに連れて行っていただきました。道の両サイドは延々と続く牧場のようで、乾いたでこぼこの道が続くばかり。放牧の牛もまばらで、のんびりとした光景が延々と続いて、日本の沿岸に見られる山など全くないのっぺら棒フラットな土地。とても心がほんのりとしてくる光景だったことを思い出します。

やがて、港へ向かう途中のハーバーには、大小色とりどりのクルーザやヨットが溢れていた。フランスの統治で、その一体は観光ガイドなどで知っている南仏の光景と変わらない。これが 仏領の面影であり、ヨーロッパ人などの外人から見た雰囲気、何となく、天国に一番近い島という所以が理解できるものでした。

そんな島に、カレドニアカラスが職人芸で餌のナメクジをご馳走にして、生息しているとは露知らなんだ。地球って、とても感動的だし面白いですね。昼下がりの2時間ほどは、シャッターも閉まってしまい蛭の殻状態で意気込んで上陸した船員たちには拍子抜け。仲間とやることもなくぼんやりとベンチに腰かけているスナップ写真が残されています。

また、シエスタで町全体が午睡の中に静まり返るあの島に行ってみたくなりました。これぞ、夢の島かも知れません。あの人なつつこい太っちょの漆黒の現地の人々は何を夢見ているのだろうか。「ボンジュール・マスター、ハボネ、ミスタートウゴ、マイフレンド、マイフレンド」の聲が記憶の底から聞こえてきます。

【 WISからのお知らせ 】

***** 天気で元気! *****

世界初 「ソリューションする気象会社」

防災メールなら **地震番**

<http://www.wis-x.co.jp/jishinban/jishinban.html>

トータル節水システム (**経費節減効果NO1**)

http://www.wis-x.co.jp/kachiaru/kachiaru_shouhin.htm#echoj

たのしい競馬に 「**馬場コンディション情報**」

<http://babacondition.sblo.jp/>

減災とセキュリティ 「**ミスター防災**」

<http://mrbosai.sblo.jp/>

取れたて安全・安心農産物 「**直売所NOW**」

<http://chokubaisho.sblo.jp/>

天気と健康のお話 「**ウェザー&ビューティ**」

<http://weatherandbeauty.sblo.jp/>
